
あと少し早ければ

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

あと少し早ければ

【Nコード】

N3469R

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

買い物帰りに溺れた子供を見つけた。

(前書き)

今行くぞ!!

買い物帰りに橋の上を通ると、下の方から何やら音が聞こえる。

ふと気になり、橋から身を乗り出し、下を見下ろすと、子供が一人溺れながら流されていくではないか。

『大変だ！ 助けなくては！！』

と橋の手すりに足をかけるも

『そういえば、今日はお気に入りの服だった』
と躊躇する。

そうしている間にも、子供は水面から頭が消えたり出たりしながら、川下の方へと流されていく。

『服なんか、かまうもんか！』

と再度、飛び込もうとするが、表面的な善意だけでは体がいうことをきかない。

『クソ！ 動け！ 動いてくれ！！』

そう思いながら、身を乗り出すと、飛び込むつもりもなかったのに、体は川へと落ちていった。

『こうなったら、やけくそだ！』

と子供の方へ泳いでいこうと思った瞬間

『すいませ〜ん！ アソコにも溺れている人がいます！』
と声が聞こえる。

ふと河川敷の方を見ると、毛布にくるまれた溺れていた子供の傍から、私の方を指差して叫んでいる女性の姿が見えた。

『俺は！ 俺は溺れてなんか！！』

と思っていたが、レスキュー隊らしき人が泳いでくると
「大丈夫ですか！！」

と声をかけられた。

無言で頷くと、河川敷まで浮き輪のようなモノをつけて、引っ張っていかれた。

「いい大人が川に落ちたらダメですよ」

と言われ、溺れていた子供を探したが、もうそこにはおらず

「はい……すみません……でした」

と頭を下げていた。

『どうして俺が謝らないと!!』

そんな思いでいたが、水に濡れ寒くなったので帰る事にした。

『【骨折り損のくたびれもうけ】とはこの事だな……。っていうか、俺の買い物袋は!?!』

川下を見ると、どんどん流れていくビニール袋が見えた。

俺はビニール袋が見えなくなるまで、見届けると愕然とその場にうずくまった。

正に【骨折り損のくたびれもうけ】何も得はなく、失ったモノは大きかった。

(後書き)

躊躇うヒマがあるなら、やめとけば……。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3469r/>

あと少し早ければ

2011年10月8日01時11分発行